

14. NHKBOOKS 651 地下水の世界

榎根 勇著

日本放送出版協会（1992）

新書判 p.221

定価 830 円(本体 806 円+税)



目次

はじめに

第1章 地下水観を日本と西洋に見る

地下水脈、二月堂のお水取り、水脈占い師、国際学会でも、西洋の地下水観、川崎直下型地震の前兆？、水脈占い師の論理、地下水脈と水みち、著しく遅い地下水の流速、水理学から水文学へ、地下水の持つ情報、バリ島の聖なる泉、関閨町のそうめん流し

第2章 泉がいたるところに湧きだしていた

佐久知穴、大鑽井盆地、アルトワ井戸、掘抜き井戸、五井・市原自噴帯の後退、浪井、地下水は水圧では動かない、砂丘湖、ヤ・ヤト・ヤツ・ヤチ

第3章 地下水の水質は進化する

ホートン地表流、軟水と硬水、ところ変われば水変わる、軟水にも種類がある、水が岩石を溶かすわけ、地下水も進化する、フィールドノート、ミネラルウォーター、デンバーの人工地震、地下水汚染

第4章 扇状地の地下水を養う黒部川

入善町には水道課がない、筑波移転反対闘争、黒部川扇状地湧水群、天然記念物「杉沢の沢スギ」、屋気楼と埋没林、ガイベン・ヘルツベルクのレンズ、地下水を養う黒部川、沿岸海域地形図が語っていること、水温異常が明らかにした埋没地形面、黒部川扇状地をつくる、地下水の循環速度、埋没林が残ったわけ

第5章 武蔵野台地の地下水を探る

武蔵野夫人、まいまいず井戸、50メートル等高線上の湧水、70メートル等高線上の谷頭、武蔵野台地の地形、武蔵野台地の古水文、湧水がそこにあるわけ、水みちの成因、立川断層と矢川緑地湧水群、トトロの森

第6章 東京の地下で起こっていたこと

生ぐさいことども、地盤沈下、地下水面の変化と酸欠空気、地下水位と地下水面の違い、地下水の流れをはばむ立川断層、不圧地下水と被圧地下水、武蔵野線の路盤浮上事故、適正揚水量はあるか

むすび 新しい地域水循環系の創出をめざして

玉川上水と野川、望ましい環境とは、イデオロギーと科学、予測科学から診断科学へあともがき

紹介コメント

地下水ブックガイド

著者は筑波大学（旧：東京教育大学）にて地下水を含めた水文学について長年研究をされ、この本では自身が関わられた地下水調査の事例を盛り込みながら、地下水に関する世界観から一般的な地下水の観察から理解する方法や関連する話題が記述され、さらに地下水問題から環境問題を考えさせられる構成にもなっていて、読みやすく地下水を知るには最適の本である。

